

ミコアイサ（カモ科） 全長42センチ

冬鳥は、春になると北の繁殖地へ向って日本を去っていきます。ミコアイサも3月中には渡りをする
ことから、県内では見られなくなります。

7月に、大浦沼で1羽のミコアイサが残っていることを紹介しました。右の羽がほとんどなく、飛ぶ
ことが出来ません。

その後も、オスのミコアイサを探し続けましたが中々見つけることが出来ませんでした。天敵に襲わ
れたら飛ぶことが出来ないので、草むらの中に身を潜めているのでしょうか。



オス。夏羽のミコアイサはオス、メスとも羽の様子が似ている。

しかし9月27日、暫くぶりに見つかりました。

早くも冬鳥のコガモやオナガガモ、ヒドリガモなどが飛来し、ミコアイサも安心して現れたのでし
ょう。

昨シーズンの大浦沼は厳冬期に入っても、全面結氷にならなかったが、今シーズンはどうだろうか。
心配です。



見た目には元気そうだ。



直ぐ身を隠せるよう、岸辺の草むら近くで泳いでいた。

飛んで移動できないことから、このままでは餌を食べることが出来ません。
鳥獣保護センターへの保護など、対策を考えておかなければならないと思っています。



カルガモとは仲が良いようだ。



右の羽が半分以上欠けている。